

事務事業名		理科教育等設備整備事業(旧名:理科教育等整備事業)				会計	一般会計				
課等名		学校教育課		係等名 学務係		事業種別	経常	開始		終了	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり								
	施策	22	義務教育の充実								
目的	対象(誰・何を)	飯田市内小中学校				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	理科教育等の設備を行い、より良い学習環境作りを行う。					整備実施する学校数			28	
	向上させたい上位施策の成果指標	基礎学力の水準(小学校)									
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	整備した学校数				28	28	28	28		
	定性目標										
	理科教育等(理科、算数及び数学)の授業を充実のため、教材備品を、市内小中学校3グループに分けて、3年に一度整備する。										
24年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 理科教育等(理科、算数及び数学)の授業充実のため、教材備品(地震発生説明器、滑車実験器、クロス真空計、顕微鏡など)を整備する。 実施校:飯田東中、飯田西中、緑ヶ丘中、竜東中、竜峡中、旭ヶ丘中、鼎中、高陵中、遠山中					実施校数			中学校9校		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,896	2,800	2,196	2,170	(国)理科教育等設備整備補助金(補助率1/2)					
国庫支出金		947	1,400	1,062	1,085						
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		949	1,400	1,134	1,085						
人件費計(千円)②		107		107							
正規職員所要時間		30		30							
臨時職員所要時間		0		0							
総事業費①+②		2,003	2,800	2,303	2,170						
事業内容・目標達成状況の振り返り	限られた予算の中で理科設備等の整備を行い、授業の充実に寄与することができた。										
改革改善の考え方	①問題点	老朽化している備品の更新。									
	②改革提案	更新を計画的に行えるよう、耐用年数を超えている備品の把握を行う。									